

実施報告書

令和 6年度「校庭芝生化地域連携事業」実施報告書

区市町村名	清瀬市
学校名	清瀬市立清瀬第七小学校
協議会名	松山DX(マツヤマデラックス)

1 事業目的

- ・子供たちが体を動かす喜びを味わうことで体力向上を図る一助として、安全で気持ちよく体を動かせる環境を整備する。
- ・学校と地域の連携・協力を深め、地域の教育力を向上させる一助として、校庭芝生の維持管理を両者が協働して行う。

2 主な取組と成果

- ・本事業の活用により、地域の協力の下で芝生の維持・管理等行うことができた。
しかし、6月7日にスプリンクラーが故障し、現在も予算の関係で使えない状態が続いているため、夏季期間はボランティアによる一切の活動を取りやめた。
- ・広く地域の方々に本校の芝生の良さが伝わり、市内の有志が行った「第2回レインボーフェスティバル」では、パレード出発点と終点に選んでいただいた。雨天ではあったが、体育館も併用し、前年度より参加者が多かったとのこと。
- ・「松山DX祭り」は、コミュニティスクールにふさわしく、地域団体や一般のボランティア以外に、卒業生や近隣の中学校・高等学校・大学の生徒も参加し、盛大なものになった。ただし、学区の中学校が授業を入れていたため、昨年度より参加人数が少なかったため、次年度は日程の調整を行う。FMラジオインタビューやSNS投稿など、事前にルールを作りトラブルを防ぎながら活用することができた。

3 取組内容

- 1 定例活動日
月1, 2回程度 グリーンキーパーによる芝刈り及び整備活動(4～11月)
- 2 松山DX会議
月1回程度 芝生の維持・管理に関わる情報交換と活動内容の確認
イベント「松山DXまつり」の運営にかかわる協議と準備
- 3 芝生マット移植
9月5日 11月の運動会に向け、野球のダイヤモンド型に芝生がなくなってしまった場所の走路を安定させるため、地域で育てた芝生を大量に譲り受け、グリーンキーパーと6年生児童が移植を行った。校庭を使う野球チームが、芝生養生への協力を積極的に申し出てくださるようになった。
- 4 イベント「松山DXまつり」の開催
10月19日 芝生のグラウンドを活用したアトラクションなどを通して芝生のよさを啓発(ボッチャ・車いす・バッティング・ウォーキングサッカー・紙飛行機・堆肥作り紹介・撮影コーナー等) 参加者数 約600名
- 5 青空給食
11月13日 全校児童による芝生の上でのお弁当給食とクラス遊びで、芝生のよさを体感した
- 6 芝生救出大作戦
1学期終わりと2学期初め 夏季期間中に水泳指導がなく水と触れ合うことがなかったため、芝生の上で思い切り水を使うイベントを、各クラスで実施した。児童への提案は、スプリンクラーが壊れて芝生が枯れそうなので助けてほしいという趣旨で行った。



4 今後について

- ・連日且つ長期の猛暑による影響に加え、スプリンクラーや芝刈り機の故障に、ボランティア活動や芝生の育成が予定通りにならなかった。ボランティア活動内容の見直しを短期的に、機材の老朽化による買い替えなどを中期的に計画を立てる。
- ・芝生を活かした小規模イベントを緑が鮮やかな時期に増やし、ホームページなどで保護者や地域にPR活動を行うことで芝生に対する理解や協力を促す。
- ・今年度行った「松山DXまつり」を来年度以降も実施し、校庭芝生のよさをさらに啓発していく。
- ・校庭の一部に芝が張られていない状態がまだ残っている。今後も、地域団体等と連携して芝生の養生を進めるとともに、共同作業を通じた地域のコミュニティ形成を促進する。